

平成29年度ウエザリング技術研究成果発表会開催のご案内

主催 一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

協賛 一般社団法人日本塗料工業会, 日本プラスチック工業連盟,
一般社団法人日本防錆技術協会, 公益財団法人スガウエザリング技術振興財団

開催日 平成29年11月28日(火), 11月29日(水) 2日間

会場 第1日(11月28日)メルパルク東京 東京都港区芝公園2-5-20 TEL (03)3433-7210
第2日(11月29日)銚子暴露試験場 千葉県銚子市新町1034-1 TEL (0479)23-8131

参加料 参加料は、参加申し込み時にお支払いください。

	賛助会員	非会員
第1日(11月28日)のみ	2,500円	4,500円
第1, 第2日(11月28日, 11月29日) 2日間	3,500円	5,500円

注) 消費税, 第1日の昼食代込み。

振込先

三菱東京UFJ銀行	田町支店	普通預金 4000970
三井住友銀行	丸ノ内支店	当座預金 1015235
みずほ銀行	浜松町支店	普通預金 1185106

イッパンザイダンホウジンニホンウエザリングテストセンター
口座名：一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

※ お振込手数料は貴社にてご負担ください。

参加申込 「平成29年度ウエザリング技術研究成果発表会参加申込書」に所要事項をご記入の上、
郵送、FAX又はE-mailでお申し込みください。

送付先 〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-11
一般財団法人日本ウエザリングテストセンター
TEL 03-3434-5528 FAX 03-3434-5529
E-mail: tokyo@jwtc.or.jp

平成29年度ウエザリング技術研究成果発表会テーマ・講師

11月28日(火)

午前の部 A会場

時 間	テ ー マ・講 師 (敬称略)
10:00 ~10:05	開会挨拶 当財団 理事長 屋良 秀夫
10:05 ~11:05	新たな基準認証の在り方について 経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 課長 藤代 尚武
11:05 ~11:45	JIS Z 2381 大気暴露試験方法通則の改正について 改正委員会委員長 国立研究開発法人物質・材料研究機構 篠原 正
11:45 ~12:45	昼食 (A会場で昼食となります。)

午後の部 A会場 (高分子材料, 塗料), B会場 (金属材料)

時 間	A会場 (高分子材料, 塗料)	B会場 (金属材料)
12:45 ~13:45	塗膜の熱性能—熱流計測法による熱特性測定方法及び測定装置の開発 一般財団法人日本塗料検査協会 比留川伸司	金属材料の大気腐食性評価 関西大学 廣畑 洋平
13:45 ~14:45	再生ポリプロピレン材料の耐候性評価 一般財団法人化学研究評価機構 佐藤 圭祐	炭素鋼のワッペン試験片による腐食減耗量調査と腐食環境分類 日鉄住金防蝕株式会社 石田 和生, 今井 篤実
14:45 ~15:00	休憩	休憩
15:00 ~16:00	NTTの通信設備における「塗装」の適用事例 東日本電信電話株式会社 竹内 淳	コンクリート中鉄筋腐食の基礎と新腐食加速試験法の開発 国立研究開発法人物質・材料研究機構 土井康太郎
16:00 ~17:00	促進耐候性試験におけるリスクアセスメントの基礎と実践 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 中澤 亮二	錆が残存した鋼材面の特性と塗装防食性に関する考察 関西ペイント株式会社 松田 英樹

11月29日(水)

銹子暴露試験場見学会

時 間	テ ー マ・講 師 (敬称略)
13:00 ~15:45	銹子暴露試験場設備機器の説明及び見学 耐候性に関する質疑応答 当財団 銹子暴露試験場 職員

発表の概要

午前の部 A会場

新たな基準認証の在り方について	経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 課長 藤代 尚武
JIS Z 2381 大気暴露試験方法通則の改正について	改正委員会委員長 国立研究開発法人物質・材料研究機構 篠原 正
JIS Z 2381 大気暴露試験方法通則は、1979年に制定され、1987年及び2001年の改正を経て今回の改正に至った。今回の改正は、近年実施されている試料の傾向が変化しているため、旧規格での表現と現状との乖離を解消することを目的として、暴露試験方法の一般的要求事項などを見直した。本報告では、改正の経緯、主な改正点を中心に解説する。	

午後の部 A会場 (高分子材料, 塗料)

塗膜の熱性能—熱流計測法による熱特性測定方法及び測定装置の開発	一般財団法人日本塗料検査協会 比留川伸司
すでに遮熱塗料として要求される性能が JIS で規定されていたが、塗膜の熱性能について客観的な評価ができず、国内の関係者から熱量を直接的に測定する、塗膜の日射侵入比の測定方法の標準化が求められてきた。そこで、塗料の省エネルギー性能評価方法及び装置の開発をはじめ、平成 28 年度に測定装置が完成し、測定方法の JIS も制定予定である。本報は「一般塗料及び遮熱塗料」と塗膜の日射侵入比との関係の一例について、報告する。	
再生ポリプロピレン材料の耐候性評価	一般財団法人化学研究評価機構 佐藤 圭祐
工場内で再加工（工場内リサイクルとも呼ばれる）されているプラスチックを想定した再生ポリプロピレンの試験片を作製して耐候性試験を実施したところ、再生材は未使用材に比べて物性値が低下しやすい場合があることがわかった。また、プラスチックの耐候性評価を効率的に行うための最適な暴露条件が存在することが示唆された。	
NTTの通信設備における「塗装」の適用事例	東日本電信電話株式会社 竹内 淳
NTTの設備は屋外設置されるものが多く、太陽光、雨、海水、温泉ガスなど様々な外的因子から悪影響を受ける。それらから設備を守るべく NTT で適用してきた「塗装」技術について実例を交えて紹介する。具体的には、通信装置を収容したボックス型小型局舎（RT-BOX）の夏季温度上昇の抑制に向けた熱機能塗料の適用事例、腐食性環境であるマンホール内の通信ケーブル受金物への防食塗装の適用事例について紹介する。	
促進耐候性試験におけるリスクアセスメントの基礎と実践	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 中澤 亮二
促進耐候（光）性試験を実施する際、屋外（内）暴露1年相当＝促進耐候（光）性試験X時間照射といった試験結果の解釈が重要となる。このような相関関係は、製品個品の設置環境、要求される安全性・信頼性・修理可能性、各社の品質管理・品質保証、販売戦略等によって異なってくるためにある特定の変換係数のようなものは存在しない。本講演ではリスクアセスメントの考え方と関連付けながら上記諸点について解説する。	

午後の部 B会場 (金属材料)

金属材料の大気腐食性評価	関西大学 廣畑 洋平
大気腐食は液膜下で発生・進展し、液膜の性状・形状の変化は溶存酸素の溶解度や拡散速度、溶液抵抗などの変化を通して大気腐食の発生や進展に大きな影響を与える。したがって、大気腐食の発生と進展を評価するには、気象条件に大きく影響を受ける薄水膜下で測定を行う必要があるため、その評価手法が非常に限定されている。 本報告では、大気腐食とその評価方法を概説し、我々が最近取り組んでいる CCD カメラシステム、Kelvin プローブ法、指示薬含有寒天型 pH 分布測定システムを適用した金属材料の大気腐食評価方法を紹介する。	
炭素鋼のワッペン試験片による腐食減耗量調査と腐食環境分類	日鉄住金防蝕株式会社 石田 和生, 今井 篤実
耐候性鋼橋梁の分野では、鋼材適用環境における鋼材腐食量を求める方法として、ワッペン式曝露試験法が一般的となっている。このワッペン式曝露試験法を弊社の登別、新潟、沖縄曝露場で実施し、各箇所における腐食量を求めた。ワッペン式曝露試験によって得られた腐食量と各箇所測定した環境因子データのうち、飛来塩分量、硫酸化物量、温度、湿度の関係について報告する。また、飛来塩分と硫酸化物が鋼材腐食に与える影響を重回帰分析により考察を試みた。	
コンクリート中鉄筋腐食の基礎と新腐食加速試験法の開発	国立研究開発法人物質・材料研究機構 土井康太郎
コンクリート内部は高アルカリ環境であるため、埋設された鉄筋表面には不動態皮膜が形成し鉄筋は良好な耐食性を発揮する。そのため、コンクリートが剥離、崩壊するほどの鉄筋の腐食には数十年以上必要であると言われている。我々の研究グループは、コンクリート中鉄筋腐食メカニズムの解明のため、鉄筋表面に酸素を加工供給し、腐食反応を促進させる高酸素腐食促進試験法を開発した。本講演では、コンクリート中鉄筋腐食の基礎とともに開発した高酸素腐食促進試験法について述べる。	
錆が残存した鋼材面の特性と塗装防食性に関する考察	関西ペイント株式会社 松田 英樹
経年劣化した鋼構造物の塗り替えでは、素地調整不十分の場合の早期発錆が問題となるため、この原因について改めて検討した。その結果、錆残存面における塗装防食性の低下は、残存塩分量や残存錆厚みだけではないことが判ってきた。ここでは錆残存面のサイクリックボルタンメトリーから得られる情報と、防食性の関連性、およびそこから得られる腐食モデル等について考察する。	

参加料 ※ 参加料は、参加申し込み時にお支払いください。

	賛助会員	非会員
第1日(11月28日)のみ	2,500円	4,500円
第1, 第2日(11月28日, 11月29日)2日間	3,500円	5,500円

注) 消費税, 第1日の昼食代込み。

参加料の振込先, 口座名

振込先

三菱東京UFJ銀行	田町支店	普通預金 4000970
三井住友銀行	丸の内支店	当座預金 1015235
みずほ銀行	浜松町支店	普通預金 1185106

イッパンザイダンホウジンニホンウエザリングテストセンター

口座名：一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

※ お振込手数料は貴社にてご負担ください。

※ 請求書が必要な場合は、参加申込書に記入してください。

(参加申込書は郵送, FAX 又は E-mail のいずれかの方法でご提出ください。)

- 留意事項**
1. 参加申込締切日は、11月18日迄とし、定員は100名とします。
 2. 第2日(11月29日)の参加定員は30名とします。交通の詳細は、参加証と一緒にご案内いたします。
 3. 参加証は、正規受付け後、参加申込者宛に送付いたします。
 4. テキストは、第1日(11月28日)の会場で受付け時に参加証と照合の上、お渡しいたします。

発表会に関するお問い合わせ

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター東京本部 〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-11
 TEL : 03-3434-5528 FAX : 03-3434-5529
 E-mail : tokyo@jwtc.or.jp

..... 参加申込書

No. _____

平成29年度ウエザリング技術研究成果発表会参加申込書					
参 加 者	事 業 所	住 所	〒 住 所 電 話 () -		
		名 称			
	所 属 ・ 役 職 氏 名				
参 加 料		第1日のみ 参加者 名		参 加 料 円也	
参加日, 会場に ○をして下さい。		第1, 第2日 2日間 参加者 名		銀行振込 銀行 支店 振 込 日 月 日	
		第1日目 午後の部	A会場(高分子材料, 塗料) B会場(金属材料)		請求書 要 ・ 不要

※ 2名以上参加される場合は、人数分の所属・役職及び氏名をご記入して下さい。